



## INTERVIEW

フリーランスとして広告写真撮影に携わるとともに、風景写真家として里山の風景をテーマにした作品を発表している佐藤真那人さんにお話を伺いました。

## 心理学の学びを糧に 里山の情景を撮る

**感動、喜び、癒し、写真で心を響かせたい**

**感動、喜び、癒し、写真で心を響かせたい**

A photograph of a man with short hair, wearing a black hoodie and dark pants, standing on a paved path. He is holding a small white bird in his right hand. The background shows some greenery and a building.

「趣味を仕事にしてしまったので、一日中、常に写真のことばかり考えています」

A portrait of Manato Sato, a young man with dark hair, wearing a dark ribbed sweater. He is seated, looking slightly to his right. The background consists of a brick wall with a large window. A green horizontal bar at the top contains the text "風景写真家". Below it, the text "平成21年度" and "人間学部心理カウンセリング学科卒業" is displayed. The main title "佐藤 真那人さん" is prominently displayed in large, bold, black letters across the center of the image.

**佐藤 真那人** -MANATO SATO-

大学卒業後、広告写真事務所等に從事し、その後独立。本の風景もがんばらした自然の美しさに、旅と続く人間の生活模様が交わっていくことでつくり出される里山の情景を取り切る。2016年第55回キヤノンフォトコンテスト、アンダーライター部門プロ賞受賞。2018年Canon銀賞。ギャラリー「霊峰」個展開催。

# 同窓生の現在



無機質な電柱も人の生葉が築いた里山風景の一部だ。

新しい手法に挑戦して  
心象風景を追求

ろく、大学の図書館に並んでいた心理学の本を片つ端から読みました。

# 100年のあゆみ

1923

佐藤重遠・フユにより  
東京都新宿区の現在地に  
研心学園を創設



1930

目白商業学校を設置

1948

学制改革により、目白女子商業学校は  
目白学園高等学校と目白学園中学校に改組



1960

目白学園幼稚園を創設



1963

目白学園女子短期大学を創設



1994

埼玉県さいたま市の現在地に「岩槻キャンパス」を開設  
目白大学を創設



1999

目白大学大学院を創設

2000

目白学園女子短期大学を目白大学短期大学部に  
名称変更し、英語英文科と国語国文科を言語表現学科に改組

2009

目白学園高等学校を目白研心高等学校  
目白学園中学校を目白研心中学校に名称変更、男女共学制



目白学園  
創立100周年

2023



## 創立100周年に向けて

目白学園は2023年に創立100周年を迎えます。また、短期大学は60周年、大学は30周年と節目の年を迎えます。この間、時代の要請に応えて発展を続け、今日、学生・生徒7千名を超える総合学園に成長しました。これも同窓生の皆様のご支援の賜物と感謝しております。大学は、新生メディア学部に統き、今後とも教育研究内容を充実させ、発展を続けていく所存です。引き続き、ご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願いします。

学校法人目白学園 理事長 尾崎 春樹

## 目白学園創立100周年に向けて

学校法人目白学園は2023年に創立100周年を迎えます。また、同じ年に、目白大学は設置30周年を迎えます。この間、さいたま市の現在地に学部でスタートした本学も、現在は7学部を有するまでに成長いたしました。目白学園の一員として、目白大学はこの記念すべき年に向け、教育研究体制の一層の充実を図り、社会に貢献できる人材養成のために、邁進していく所存です。同窓生の皆様のご支援を今後ともよろしくお願い申し上げます。

目白大学 学長 沢崎 達夫



目白学園は、2023年、  
創立100周年を迎えます。

ロゴマーク

100th  
since 1923  
anniversary  
未来へ飛躍  
目白百年

2020年  
8号館(百年館)  
新宿キャンパスに開設!

地下2階地上5階建ての新校舎の竣工は2020年の予定で、入口には学生の活発な交流と活動を図るラーニングラウンジが設置されます。外周を全面ガラス張りにし自然光を取り入れ、大小講議室や研究室が入るこの新校舎は教育・研究の新たな拠点としての役割が大きいに期待されています。

URL→<https://www2.mejyo.ac.jp/100th/>

100周年  
記念サイト  
OPEN!!

キャッチコピー「未来へ飛躍 目白百年」を的確に表せるように。「100」の最初の数字「1」は船の「舵:かじ」イメージ。数字の「0」は終わりのない「円」で表現し、「永続 繁栄」をイメージ。右上に向かいながら、大きく、重なることで「成長・飛躍」を表しています。3色の青は、徐々に明るく変化されることで「100周年・明るい未来」を表現しています。

Tomato

Banana

いわつきマルシェ in 目白大学

2018.10.28 [SUN]

桐榮祭同時開催

秋晴れの10月28日(日)、さいたま岩槻キャンパスで桐榮祭が行われるなか、「いわつきマルシェ」も同時開催され、多くの来場者で賑わいました。「いわつきマルシェ」は、地元新鮮野菜の販売や、市内のレストランシェフによる岩槻産西洋野菜を使った特別メニューなど、岩槻の“食”を味わえる祭典です。同市岩槻区の誕生10周年記念の催しとして2015年に初めて開かれ、今回で4回目を迎えました。目白大学はさいたま市と包括連携協定を2016年に締結し、地域社会への貢献をさまざまな活動を通して行っています。今後も「いわつきマルシェ」を支援していきたいと考えています。

主催：「いわつきマルシェ in 目白大学」実行委員会（岩槻区役所コミュニティ課）  
場所：さいたま岩槻キャンパス オープンエアステージ

## SHINJUKU CAMPUS

### 第50回 桐和祭 2018年10月20日(土)・21日(日)

「Going my way」(ゴーイングマイウェイ)をメインテーマに盛大に開催された、50回目の桐和祭。両日合計9,803名のお客様にご来場いただきました。50周年を記念して開催した「桐さんほスタンブラー」では、クイズ全問正解者に先着でトートバッグの景品をプレゼント。また、2日目には先着200名様に桐和祭50周年記念品の配布を行なうなど、節目の50周年を祝う企画も好評でした。

ご来場いただいた  
同窓生の皆さん、  
ありがとうございました!

## Event Report

## IWATSUKI CAMPUS

### 第25回 桐榮祭 2018年10月27日(土)・28日(日)

桐榮祭を盛り上げるために学生自身が楽しんほしいという願いを込め、今年度のテーマは「Have it your way」(自由にやる)。特設ステージでのスペシャルライブから、ダンスや音楽のステージ発表、大声コンテスト、ピンゴゲーム、模擬店、体験コーナーなどの展示、そしてラストを飾る毎年恒例の花火大会まで、たくさんの企画を準備して多くのお客様に楽しんでいただきました。

ご来場ありがとうございました！

学園祭レポート

## 高橋晴美個展

### 第2回 高橋晴美個展 2019年1月24日(木)～29日(火) Court Gallery KUNITACHI

前号(会報Vol.24)「同窓生の現在」にご登場いただいた高橋晴美さんの個展が行われました。同窓会事務局からも開催を祝してお花をお贈りしました。

